

製品保証書

製品購入日から1年以内に取扱説明書に従い、正しくご使用された状態で故障が生じた場合
保証規定に基づき無料修理致します。
故障が発生した場合は本書と製品をお持ちいただき、お買い上げの販売店へ修理をご依頼下さい。

保証規定

- 1.保証対象部分 消耗品を除くザイグルミニグリル本体
 - 2.保証期間内であっても次のような場合には有償修理となります。
 - 使用方法に誤りがあった場合の故障や損傷
 - 使用電源の異常による故障や損傷
 - 他の機器に起因する故障や損傷
 - メーカー技術者以外により、分解、修理、改造がされた場合の故障や損傷
 - 車両や船舶に搭載して使用された場合の損傷や故障
 - お買い上げ後の外的要因(落下・衝撃・圧力などの負荷、液体・薬品などの付着。水没など)や、運送上の故障や損傷
 - 火災、天変地異(地震、風水害、落雷など)塩害、ガス害、虫害、公害、異常電圧などによる故障や損傷
 - 本書の提示がない場合、本書に販売店印、販売日の記載が無い場合あるいは字句を書き換えられた場合
 - 3.本製品を営業用(営業活動、非常識的な使用)として使用した場合には保証対象外となります。
 - 4.保証修理は持込み修理となります、出張修理は行いません。保証修理以外にかかる費用(梱包、送料等)は、お客様のご負担となります。
 - 5.保証修理に関して得た個人情報は保証修理に関する業務以外に使用することはありません。
 - 6.贈答品や転居などで本書に記載されている販売店に修理を依頼出来ない場合には下記の お客様サポートセンターへご相談ください。
 - 7.本書は日本国内においてのみ有効です。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって本書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製 品 名	ザイグルミニグリル
モデル番号	ZAIGLE mini-jp01
購 入 日	年 月 日
販売店印 ※販売店発行の 販売店名、販売 日購入商品名 の記載された 保証用書類の 添付でも可	

ZAIGLE

日本総代理店(株)ティ・ユー・エフ お客様サポートセンター 0120-80-1961
受付時間 10:00~11:30 13:00~17:00 (土日祝日、当社指定休業日を除く)
受付時間外のご相談はEメールにて承ります、ご返信は翌営業日以降となります。
E-mail support@zaigle.co.jp

MA No,003M-01 ザイグル公式ホームページ <http://zaigle.co.jp/>

ザイグルミニグリル

MODEL No:ZAIGLE mini-jp01

取扱説明書

ZAIGLE mini



本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品で使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みにになり正しくご使用下さい。

始めに

ザイグルミニグリル取扱説明書

この度は、お買い上げいただき誠に有難うございます。本製品を安全にお使いいただくために、使用前に必ず本書をお読みいただき、取扱方法を十分理解した上でご使用下さい。なお、本書はいつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

もくじ

始めに・もくじ・製品仕様	1
安全上のご注意	2～5
各部のなまえ	6
使用方法	7～9
お手入れと保管・困ったときは	9～10
保証書	裏表紙

製品仕様

製品名	ザイグルミニグリル(ZAIGLE MINI GRILL)		
型式	ZAIGLE mini-jp01		
定格	電圧AC100V 周波数50/60Hz 出力1100W		
重量	約2.7Kg（プレート含む）		
サイズ	本体	直径	約320mm(調整ダイヤル含む全長345mm)
		高さ	約278～321mm
	プレート	直径	約324mm（調理範囲直径 約290mm）
主な材質	本体	プラスチック（PA66/PP）ステンレス	
	プレート	アルミニウム（表面フッ素樹脂加工）	
温度調整装置	バイメタル・サーモスタット		

本製品は一般家庭用です。業務用途には使用しないで下さい。

セット内容

ザイグルミニグリル本体×1・プレート×1式(2分割)・カバー×1
簡単調理マニュアル×1 取扱説明書/保証書×1(本書です)

まず、セット内容をお確かめ下さい。
※形状は各部名称(6ページ)をご参照下さい。

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みになってから、正しくお使い下さい。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。

マークが表す意味



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡
または重傷を負うことが想定される
内容を表します。



このようなマークは行為
を禁止(してはいけない
こと)を表します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害
または物的損害を負うことが想定さ
れる内容を表します。



このようなマークは行為
を強制(しなくてはなら
ないこと)したり指示を
表します。



警告



禁止

子供だけで使わせたり、子供や幼児
の手が届くところへおかない
※事故やトラブルの原因となります。



禁止

フードとプレートの間に身体や衣服
や燃えやすいものなどを入れない
本体周囲に燃えやすいものや、プラ
チック容器ビニル容器などの溶けや
すいものを置かない
※火災・発火のおそれがあります。



禁止

天ぷら、フライなど容器に油を入
れて加熱する調理をしない。
※火災の原因になります。



水ぬれ禁止

水をかけたり、水につけたりしない
丸洗いはしない
※ショート・感電のおそれがあり
ます。



分解禁止

改造はしない、また、修理技術者以
外のひとは、分解したり修理しない
※火災・感電・ケガの原因となりま
す、修理はお買い上げの販売店また
は、弊社お客様サポートセンターへ
ご相談下さい。



ぬれ手禁止

ぬれた手で差込みプラグを、コン
セントに差したり抜いたりしない
※感電やケガをするおそれがあり
ます。



禁止

調理以外に使用しない
※調理物以外の物を加熱したり、
炭起こし等に使用するとおそれな
事故や火災の原因になります。



必ず実施

差込みプラグにほこりが付着してい
る場合は、しっかり拭き取る
※火災の原因になります



禁止

交流100V以外では使用しない
※火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は差込みプラグをコン
セントから抜く
※火災・ケガの原因になります。

警告

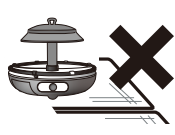


禁止

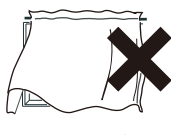
燃えやすいものの近くや、燃えやすい敷物の上、壁や家具の近く、熱や光に弱い材質のものの上では使用しない。
※変色・変形・跡がついたり火災・発火の原因になります。



ビニール製などの熱に弱いテーブルクロスの上



たたみ・じゅうたんなどの上

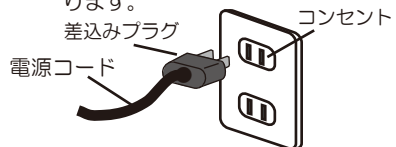


カーテンなどの近く



禁止

コードや差し込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときには使用しない
※感電・ショート・発火の原因になります。



※イラストと現品は形状が異なる事があります



禁止

電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、はさみこんだり、加工しない
※コードが破損し火災・感電の原因となります。



禁止

使用中ヒーターを直視したり、プレートを見続けたり、長時間見続けたり、目を傷めるおそれがあります。ヒーターが直接見えない位置で使用してください。



必ず実施

差し込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
※感電・ショート・発火の原因になります。



火気厳禁

製品の周辺にストーブなどの火気や熱を発する物（ザイグルも含む）をおかない、また、このようなものそばにおかない
※プラスチック部が溶けたり、発火して火災の原因になります。



禁止

不安定な場所、本体を水平に置くことができない場所で使用しない。
※やけど・けが・火災をまねくおそれがあります。



禁止

フードをおおうようにタオルや布などをかけて使用しない。
※タオルや布などの発火、製品の故障の原因となります。



アルミホイル使用禁止



フードは熱くなりますものをのせない。

警告



禁止

製品のそばにスプレー缶やガスボンベやガスライター等、可燃性ガスや溶剤等引火、爆発の危険性があるものを置かない。また、これらのものの近くで使用しないこと。
※爆発、引火により火災やケガの原因になります。



禁止

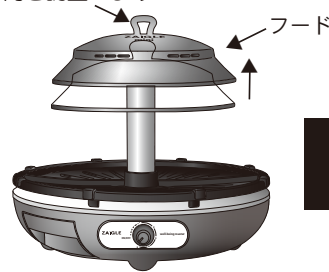
日本酒・焼酎・ワイン・ブランデー・ウイスキー等のアルコール類を加熱したり多量に食品に含ませて加熱したり、調理中に調理物や製品に振りかけたりしないこと。アルコールが発火する場合があります。大変危険です。
※ヤケドや火災、本体の損傷をまねく恐れがあります。



調理方法に注意！

フード（ヒーターガード）と調理物が接触している状態や調理物が焦げたり油はねが多量に発生するフード高さでの調理禁止。
※調理物が発煙・発火する場合があります。故障や火災をまねくおそれがあります。とくにバター・マーガリン・ラード・マヨネーズなど油脂類が多く使われている食品や水分が少ない食品、加熱により乾いてしまう食品、またはこれらが組み合わされた食品を、フードに近い状態で強く加熱すると焦げやすく発煙・発火する場合があります。加熱の際には、焦げないようにフードと調理物の間隔を十分にあげ過度の加熱はさけてください。

高さ調整つまみ



※万一発煙・発火した場合はすぐにヒーターを消灯させ調理物を製品よりとり出してください。また調理中は絶対に製品のそばから離れないようにしてください。

焦げやすい食品は焦げないようにフードを高くするか大きな食材は切るなどして小さくする。



必ず実施

故障時や・異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、差し込みプラグをコンセントから抜く

※そのまま使用すると、発煙・発火・感電・ケガに至るおそれがあります。（異常・故障の例）

●製品にひび・割れ・がたつき・ゆらみ、がある ●焦げ臭い匂いがする
●火花が見えた●ビリビリと電気を感ずる ●コードを動かすと通電したりしなかったりする●電源コードに傷、ひび割れがある など

このような場合は、すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、またはお客様サポートセンターへ修理を依頼する。

※電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者若しくはその代理店又は同等の有資格者によって行うこと。

⚠ 注意



接触禁止

本体は表面が非常に熱くなるので絶対にさわらない、とくにヒーターガード、フード、遮熱板、プレートは使用後冷えるまでしばらくは触らないこと、※やけどのおそれがあります。



必ず実施

電源コードを抜く際には、差込みプラグを持って抜く
※感電のおそれ、ショートして発火・やけどのおそれがあります。



必ず実施

油受け皿をきちんと奥までいれて使用する
※本体内、外部に食材からでた油分や水分がもれます



必ず実施

使用中や使用後しばらくは、製品のそばから離れない
※ケガや思わぬ事故をまねくおそれがあります。



禁止

使用中や使用後しばらく熱いときは、本体を移動したり油受け皿を取り出さない。
※やけどケガのおそれがあります



接触禁止

本体が冷えている場合でも、遮熱板とヒーターガード内部には触らない。
※遮熱板のフチでケガをしたり、ヒーターガード内の部品の変形や損傷により製品の故障が発生する場合があります。



禁止

ヒーターガード内の部品は非常に曲がりやすいのでヒーターガード（ステンレス網）の内側に指や道具を入れて掃除はしないでください。
※フードのお手入れの際には遮熱板のフチでのケガにご注意ください。



禁止

缶詰や瓶詰めなど密閉容器にはいった物を加熱しない
※破裂や過熱によりやけど・けが・故障の原因になります。



禁止

フードを下げたまま調理し続けたり必要以上の加熱はしない
※水分・油分がはじけ、やけどをするおそれがあります。必要以上の加熱は故障や火災の原因になります



必ず実施

肉魚の皮や膜のある食品、加熱により膜を張るような食品（卵など）は加熱前や調理中に弾けないよう切れ目や穴を開けて下さい。
※やけど・けがのおそれがあります。



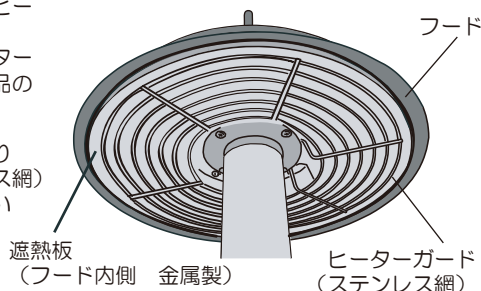
禁止

金属製のへらなどの硬い調理具や鋭利な調理具、金属タワシなどでプレートをこすらない
※プレート表面加工の傷、はがれの原因になります。



禁止

油受け皿に内容物を2/3以上ためない
※内容物があふれると製品やテーブルを汚損するおそれがあります



必ず実施

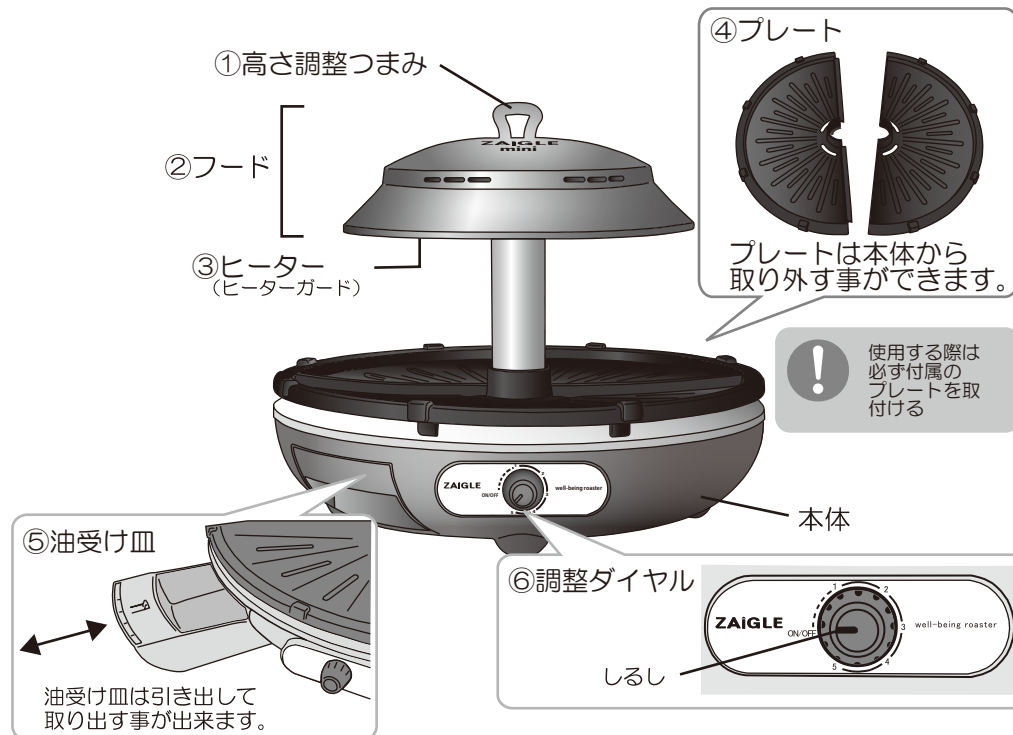
焦げた調理物はすぐに取り除いてください。
※発煙・発火の原因になり、火災やケガをまねくおそれがあります。



禁止

お手入れには、アルコールやベンジンなど有機溶剤を使用しない。
※故障の原因になります。

各部のなまえ



各部の説明

①高さ調整つまみ

フードの高さを調整する時につかむ部分です。※他の部分は熱くなります、触らないで下さい。

②フード

上下に動かすことが出来ます。※熱くなります、「高さ調整つまみ」以外は触らないで下さい。

③ヒーター

調理をするための熱を発生する部分です。※ヒーターガード（ステンレス網）で保護されておりますがヒーターおよびヒーターガードは熱くなりますので触らないで下さい。

ヒーターガードは変色している部分がありますが、製造過程の熱で生じるものでご使用には問題はありません

④プレート

調理物を置く部分です、回転させる事が出来ます。※熱くなるのでさわらない

⑤油受け皿

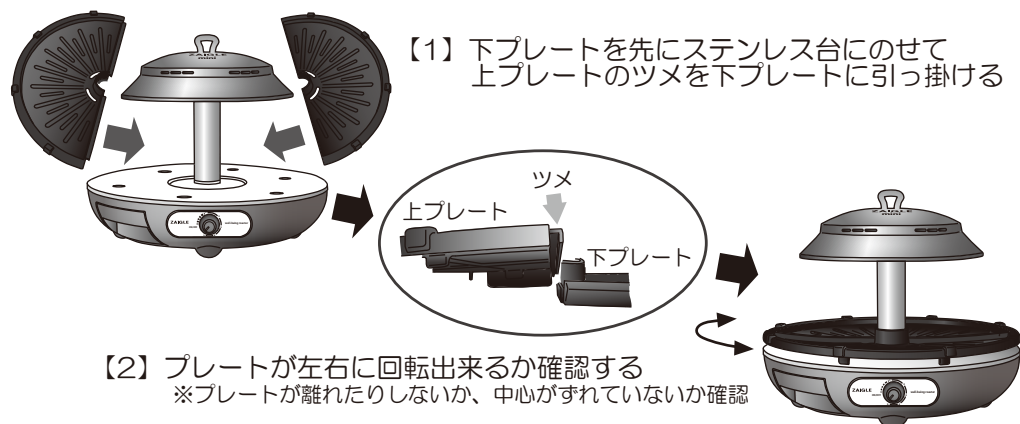
プレートから流れた油分や水分などがたまる場所です。

⑥調整ダイヤル

ヒーターがサーモスタット（温度調整器）により点灯・消灯する温度を調整します。

使い方

プレート取付方法



注意 ※プレート取扱の際にはカドの部分（とくに裏側）などで手を傷つけないようご注意ください。



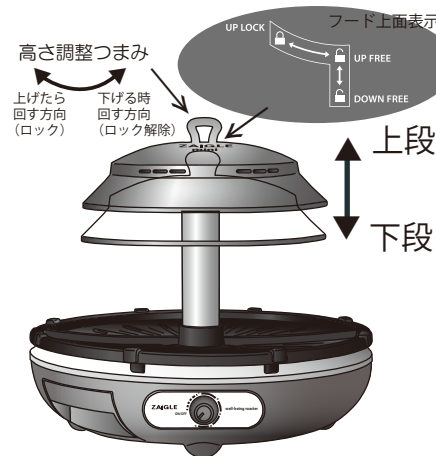
※初めてのご使用前はプレートを食器用洗剤で洗浄して下さい。

- ①準備1 油受け皿を奥まで差し込み、プレートをしっかり取り付けます。
- ②準備2 調整ダイヤルを左（反時計回り）に止まるまで回したあと、差込みプラグをコンセントにしっかり差し込みます。
- ③予熱（予熱なしの場合は④へ）
高さ調整取っ手でフードを低くして調整ダイヤルを5まで回し3～5分プレートに予熱を与えます。
- ④調理準備 ダイヤルを左（反時計回り）に止まるまで回してヒーターが点灯していない状態でプレートに調理物を置きます。
- ⑤調理 フードの高さを調整し、調整ダイヤルを5まで回しヒーターを点灯させ調理を始めます。必要に応じ調整ダイヤルの設定やフード高さを変更します。
※調整ダイヤルとフード高さについては8ページを参照して下さい。
- ⑥終了 調理が終わったら、調整ダイヤルを左（反時計回り）に止まるまで回したあと、コンセントから差込みプラグを抜きます。



使用後は必ずコンセントから差込プラグを抜いてください。
※プラグがコンセントに差込まれた状態は、ヒーター点灯する場合があります。

フード高さの説明



●ザイグルはフードの高さを上下させることで調理物への加熱具合を調整できます。（2段階）
フード（ヒーター）と調理物の距離が近くなるほど強い加熱となります。※ヒーターの強さは変わりません。

【フードの操作方法】
フードは必ず高さ調整つまみで操作し、フードを引き上げた後はフードを右回転させてロックして下さい。フードを下ろすときは左回転させてから手を離さずにゆっくりと下げて下さい。

フード高さの例

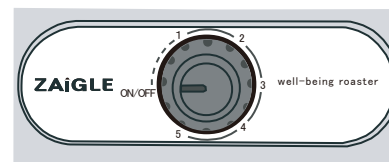
上段 ゆっくり加熱する場合、保温に
下段 通常の調理位置
※調理物の大きさ（厚さ）によって加熱の状況は異なる場合があります。フードは中間位置では止まりません

※プレートは中心部とふち側での加熱具合の差があります。中心側ほど強く加熱し、ふち側になるほど加熱しづらくなります。



警告 フードは熱くなるので必ず高さ調整つまみで操作して下さい。フード上げた場合はフードが低い時よりも本体周囲の物や身体が熱の影響を受ける範囲が広がりますのでフードが低い時よりも熱に弱いものや可燃物、危険物を遠ざけ変形・発火・爆発などに十分注意すること。

調整ダイヤルの説明



●ザイグルはヒーターが点灯・消灯を繰り返し本体温度（プレート温度）を調節します。調整ダイヤルを回転させると温度の設定が変わります。ダイヤルを数字が大きい方に回すと設定温度が上がります。数字が小さい方に回すと設定温度が下がります。

調整ダイヤルの設定例 ※使用開始時はダイヤル5、その後必要に応じて設定して下さい。

ダイヤル数字

- 1～2 料理の保温に ※状況によっては点灯を開始しない場合があります。
- 3～4 グラタンやブロック肉などゆっくり加熱したい料理に
- 5 いろいろな調理に ※使用状況によっては過熱防止のため点滅いたします。

※調理物の質・量・大きさによって調整ダイヤルの設定とフードの高さは適宜調整して下さい。
※サーモスタットは本体温度によって作動するため、プレート温度に対して瞬時に反応はいたしません、すぐに消灯（点灯）させたい場合はダイヤルを回して消灯（点灯）させたあとダイヤルを再度設定しなおしてください。（ダイヤル5付近からの点灯はダイヤルはそのままお待ち下さい）
※同じ数字に合わせた場合でも、調理物の温度・量・質や気温や本体温度によって点灯・点滅を開始するまでの時間は異なります、調整ダイヤルの数字は目安としてご使用下さい。
※点灯時のヒーターの強さを変更するものではありません。

●両面加熱を有効につかう

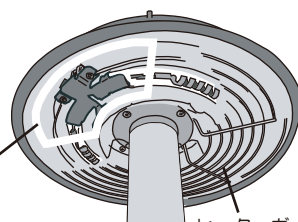
ザイグルは上部ヒーターからの加熱とヒーターにより熱せられたプレートからの加熱により、プレート上の調理物を両面から加熱することが可能となっております。プレート側からの加熱を有効に使うには、プレートに予熱を与えてから調理を開始し、複数個の調理物は適度に間隔をあけてならべて下さい。

※調理物と調理物の間隔が狭くなるほどヒーターが直接プレートを熱する面積が少なくなるためプレートの温まりが悪くなり、プレート側からの加熱は弱くなります。

●ヒーターの構造を知る

ヒーターは構造上、金具部分は点灯いたしません。その部分の下は他の部分より調理物を加熱しづらく、調理時間がかかったり加熱ムラが大きくなる場合がありますのでヒーター点灯前に金具の位置を確認し、調理はなるべく点灯する部分の下で行なって下さい。

フードを下から見る



ヒーターの金具部分周辺は発熱しません

※図はわかりやすくするためヒーターガードを一部省略しております。

困ったときは

まず下記をご確認下さい、それでも問題が解決しない場合や下記以外の症状や故障を感じた場合は、すぐに使用を止めお買い上げの販売店またはお客様サポートセンターへご相談下さい。

ヒーターが点灯しない	・差し込みプラグは正しくコンセントに入っていますか？ ・温度調整中の消灯の場合があります、調整ダイヤルを右にとまるまで回し数分以内に点灯すれば正常です。
調理物が加熱されるのが遅く感じる	・プレートに予熱(3~5分)を与えて下さい。 ・フードを低めにして下さい。 ・ヒーター金具の下とプレートのふち近くをさせて調理物を置いて下さい。
ヒーターから煙の様なものが出たりにおいがする	・ご購入後初期の使用ではヒーターが安定するまでこのような現象が起こる場合がありますがしばらくするとおさまります。 ・ヒーターランプ周辺のほこりや湿気により発生する場合があります。この場合数分でおさまります。
調整ダイヤルを回して点灯が始まる位置や時間が違う	・温度調整にサーモスタットを使用しており温度で作動しますので、本体や調理物の温度によって変化します。また使用期間によってはズレが生じる場合もあります、数字はおおよその目安として使用して下さい。

お手入れと保管



必ず実施

お手入れの前には必ず差し込みプラグをコンセントから抜く



必ず実施

油受け皿は調理後プレートと本体がさめてからプレートを取り外し、本体中心の油が流れる溝を拭き掃除したあと、本体を移動する前に取り出す。
※油受け皿がついたまま本体を移動したり傾けると、油受け皿の内容物がこぼれ故障や周囲の汚損のおそれがあります。本体の溝の油を拭き取る前に油受け皿を外すと溝の油が本体内に流れ込み、故障・汚損の可能性あります。



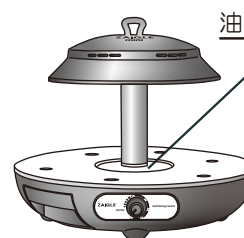
禁止

本体は水洗いしないこと

お手入れ手順

①

電源プラグをコンセントから抜き、プレートが冷めたら本体から取り外す。



油が流れるミゾ

「本体」はぬれたタオルなどで拭きます。本体中心の油が流れるミゾの汚れがひどい場合は、湿らせたキッチンペーパー等をかぶせ、しばらく置き、汚れに十分水分をしみこませてから拭き取ってください。

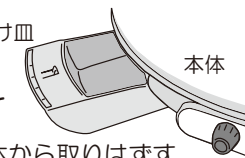
油受け皿は本体掃除の後に引き抜く

※溝の油が本体内に流れてしまい故障、汚損の原因になります。

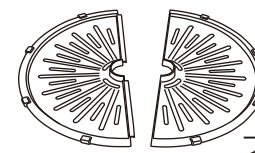
②

「プレート・油受け皿」は本体から取り外して水洗いができます。柔らかいスポンジと食器用洗剤を使用して洗浄後、よくすすいでください。

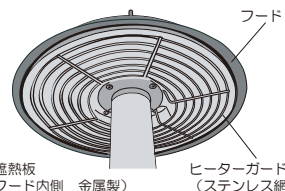
油受け皿



※本体から取りはずす



プレート



遮熱板 (フード内側 金属製)

ヒーターガード (ステンレス網)



接触禁止



禁止

遮熱板のフチに触ると指を切る等ケガをする恐れがあります

※フードの下の掃除の際はご注意ください。

ヒーターガード内の部品は非常に曲がりやすいので、ヒーターガード内部の拭き掃除は避けてください。
※大きな異物や調理物のカス、燃えるもの等、調理に影響がある汚れがある場合は、使用せずお客様サポートセンターへご連絡ください。



禁止

※フッ素コーティングの損傷の原因になりますのでプレート・ミニプレートは金属製のタワシやヘラでこすらないで下さい。
※破損の原因になるのでヒーターガード内に鋭利な物を差し込まないで下さい。

●保管

保管は洗浄後よく乾かし、湿気やほこりをさけて保管して下さい。



禁止

※付属カバー（他のカバー等）は本体が熱いときには使用しない

熱により変形・発火するおそれがあります。

※電源コードがコンセントに差し込まれている時は付属カバー（他のカバー等）をかけない
ヒーターが点灯すると、カバーが炎上し火災の恐れがあります。